

教科名 **理科**

1 授業改善の視点とその方策

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然の事象を提示するなど、生徒が興味・関心をもち、授業に取り組めるような教材を用意する。 ○明確な目標を提示し、観察、実験などを通して考える機会を設けることで、科学的に探求を行う力を養う。 ○生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に提示し、授業の目標を認識させる。また、授業内でも狙いの確認を行い、授業に取り組む姿勢を高めるよう心がける。 ○教材を身近なものを用いるなど、生徒が興味関心をもてるよう工夫を行う。 ○生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に提示し、授業の目標を認識させる。また、授業内でも目標の確認を行う。 ○教材を身近なものを用いるなど、生徒が興味関心をもてるよう工夫を行う。 ○生徒一人一人の基礎力の定着を図るために授業で復習プリントを行う。また、小テストを実施するなど、反復練習を実施する。 ○ICT機器を利用し、自分の意見を表現しやすい環境をつくる。

2 生徒の変容の状況および成果

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○視覚的教材を授業で適宜使用し、意欲関心を高めることができた。 ○実験ごとの考察を通して養うことができた。 ○問題集や小テストなどで知識の定着をはかることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎授業、ねらいの確認を行った。また振り返りの際にも、もう一度目標に戻ることによって、授業の目標を意識させることができた。 ○身近な物を例に挙げながら授業を行った ○問題集や小テストなどで知識の定着をはかることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎授業、ねらいの確認を行った。また振り返りで、もう一度目標を確認し、意識させた。 ○視覚的な教材を使用し、身近な物を例に挙げ、興味関心を高めた。 ○学期初めやテスト後の復習テストや問題プリントの使用を通し、知識の定着をはかることができた。 ○Padletの使用等、自分の意見を表現する方法について考え、実施した。

3 次年度に向けての課題

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○知識の定着に向けて家庭学習の時間を増やす習慣づけをする。 ○身近な科学的な出来事に目をむける。 ○授業中の挙手や発言がしやすい授業環境と機会を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な学習の定着を図れるように、視覚的に捉えやすい教材を取り入れることや、繰り返し学習をおこない学力の定着をはかる。 ○身近な出来事の中にある生徒の知らない事象を提示し、より興味や関心をもって学習が行えるように教材研究を行っていく。 ○実験の考察など、自分の考えを整理し、表現する場で、生徒の思考力、判断力、表現力を養えるように工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な学習の定着を図るために、復習の機会を増やす。 ○継続的に学習をする習慣が身につけられるように、課題や小テストなどを工夫する ○主体的に学び、調べ、表現する機会を授業の中で増やすため、実験や教材、ワークシートなどを工夫する。